

やさかだよい1 1No.81

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com>

2020年(令和2年)11月1日)



11月号の記事

地域づくり協議会の活動から	2~3
ふれあい運動会 (保育園・八坂小)	4~5
中学校	6
コミュニティ・スクール	7
育てる会・公民館から	8
地区の活動から	9
きらり話題の八坂人	10



「郷土ふれあい体験学習」 (関連記事：7頁)

八坂地区の人口：793人
(男394人・女399人高齢化率37.2%)
八坂地区の世帯：359世帯
(令和2年10月1日現在)

地域づくり協議会の活動から

期 日	区 分	内 容 等
8/29	やさかボランティア隊設立総会	P3 参照
9/15	第 3 回やさかだより編集会議	やさかだより 11 月号編集会議
9/17	・大町建設事務所要望活動 ・犀川砂防事務所要望活動	正副会長、諏訪県議同行
9/30	・長野国道事務所信州新町出張所要望活動	正副会長、野平自治振興会長
10/13	第 3 回八坂地域づくり協議会	・明野太陽光発電事業について ・令和 2 年度予算の組み替えについて ・八坂ビューポイント整備について
10/18	・ビューポイント整備活動 - 唐花見湿原周辺整備 - 相川トンネル横花壇花植え	八坂地域づくり協議会 八坂商工倶楽部 やさかボランティア隊

八坂地域づくり協議会の陳情活動

9月17日（木）、大町建設事務所・犀川砂防事務所に対して、正副会長が陳情活動を行いました。当日は諏訪県議にも同席をいただき、施設の改良や維持修繕箇所をまとめた要望書を手渡しました。また、同月30日（水）には長野国道事務所信州新町出張所に対して、正副会長の他に野平自治振興会長も出席し、陳情活動を行いました。



大町建設事務所



長野国道事務所



犀川砂防事務所

やさかボランティア隊の活動について



やさかボランティア隊設立総会開催

8月28日（金）、八坂支所3階集会室にて、やさかボランティア隊の設立総会を開催しました。会長には北澤豊繁さん、副会長には仁科伸一郎さんが選出されました。今後、八坂地域づくり協議会が取り組むビューポイント整備唐花見湿原周辺整備活動への協力、来年の北アルプス国際芸術祭への協力などを予定しています。

やさかボランティア隊 規約（抜粋）

（名称）

第1条 本会は、やさかボランティア隊と称する

（目的）

第2条

この組織は、景観整備事業等の活動により地域間交流を深め、「楽しいから参加する」「大した負担でないから協力する」という参加しやすく楽しいと思える活動を行い、一人ひとりが考え行動できる地域づくりを目的とする。

（活動内容）

第3条

本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- （1） 景観整備事業（ビューポイント整備）への協力
- （2） 地域及び団体の花植え等地域活動への協力
- （3） 学校支援ボランティアの活動への協力
- （4） その他正副会長が協議し、必要と認める事業

（以下略）

ビューポイント整備・唐花見湿原周辺整備

八坂商工倶楽部「相川展望公園花壇整備」



八坂地域づくり協議会
北澤 伸夫会長



八坂商工倶楽部
内山 重喜会長



やさかボランティア隊
北澤 豊繁会長

10月18日（日）地域づくり協議会のビューポイント整備として唐花見周辺整備、八坂商工倶楽部が取り組む相川展望公園の周辺整備が行われ、やさかボランティア隊も応援しました。薄曇りの少し肌寒い中、約30名の方が集まり、作業を行いました。唐花見湿原は草刈りや立木の整理、相川展望公園はあずまの防腐剤の塗布、花植え、木の植栽などを行いました。作業後はたけのこ汁や焼き鳥、おにぎりの差し入れもあり、おいしくいただきながら楽しいひと時を過ごすことができました。ご協力ありがとうございました。



第8回 八坂地区ふれあい運動会

前日の雨で開催が心配されましたが、当日の朝は雨が上がり、実行委員やPTA役員の皆さんに水とりなどの校庭整備をしていただき、予定通り運動会を行うことができました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年は小学校と保育園の種目のみでしたが、地域の方々にサポート役を務めていただき、今年も立派な「ふれあい運動会」を行うことができました。

規模を縮小しての運動会となりましたが、おかげ様をもちまして子どもたちは不安な表情もなく、それぞれの競技種目や係活動に一生懸命取り組みました。感謝申し上げます。

それでは、みんなのがんばった姿を紹介します。



みんなで準備体操。運動会スタート！



たけのこ保育園

Let's!スマイルフェスティバル



年長さんは、春から練習を重ねてきたなわとびを使ったダンスを披露！園長先生からトロフィーをもらいました。

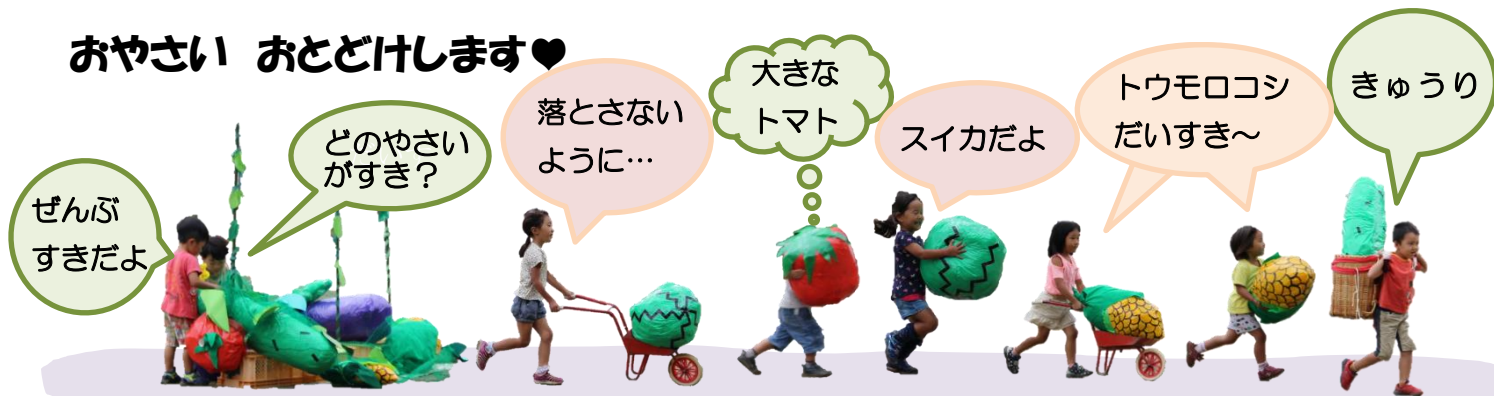


年中さんと年少さんは、キラキラ光るステックを持って、サンボを踊りました。



みんなで、バルーンを使った演技。最後はキラキラボールが打ち上がりました。

おやさい おとどけします♥





八坂小学校



The Greetest Show

躍動感！静と動のメリハリがあり、指先にも気持ちを集中して表現する高学年のダンス。とても見応えがありました。



ソーラン節

CDの音飛びというアクシデントがありましたが、仕切り直して、みんなと心を合わせて元気に踊りました。



全校リレー

各チームが走る順番やバトンの渡しの方法を考え、少しでも速くりレーが出来るように練習しました。仲間を信じ、カー杯走りました。



八坂音頭

みんなと一緒に大きな輪を作り、和やかな雰囲気で行うことができました。保存会の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

昨年のように、勝敗を競い合って盛り上がるような場面は余りありませんでしたが、ひとりひとりが力を出し切り、仲間と協力して創り上げる運動会にすることができました。ご来校いただいた皆様から、心温まる拍手をたくさんいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

お支えいただいた多くの方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



2020 年テーマ

パレット 一人ひとりがもっている カラーを活かし、活躍できる やまびこ祭

八坂中学校

やまびこ祭

10月2日(金)、3日
(土)にやまびこ祭が開
催されました。

新型コロナウイルス
感染症予防対策に万全
を期し、健康観察と暗
幕を閉めず換気を徹底
し、教室から電子黒板
を移動し3ヶ所に分散
して開閉祭式を行いま
した。



自由発表「やさカラーステージ」



今年のテーマは「パレット
一人ひとりがもっているカラー
を活かし、活躍できるやまびこ
祭」でした。特技を発表する自
由発表には全学年から応募があ
り、リフティング、手品、歌、
ダンス、落語、太鼓、ピアノと
フルートの共演の発表があり拍
手喝采でした。これからの八坂
を考える「しゃべり場」では、
講師の方とア
イデアを出し
合いながら、
八坂の活性化
のために中学
生ができる活
動を話し合い
ました。



しゃべり場やさか「これからの八坂」



今年のやまびこ祭、生徒たちの感想は？

準備期間から今日までたくさんのい
いところを見つけられました。
きっと今まで気にしなかったところも
あるし気づけなかったけど、このメン
バーでやまびこ祭を作りあげていて
とっても良かったです。

たくさんの時間を費やして頑張ってきたことを、一瞬ではあるけれど、その
一瞬を大切にしてステージに立ちたい
です。



不安なことが多くてすごく疲れました。でもその分、達成感もありました。
今年はコロナのこともあって考えない
といけなかったことが増えました。
最初はなんで今年なのと思いました
が、こうやって終わってみると、新し
いスタイルで開催できてよかったで
す。



【竹細工】 説明を真剣に聞いて作ります

郷土ふれあい体験活動
10月10日(土)に今まで別々に行なっていた八坂体験の日と郷土学習を「郷土ふれあい体験学習」と名称を変更し、PTA、公民館、学校の三者共催によるコミュニティ・スクールの行事として開催しました。老人クラブ、学校支援ボランティアから12名の講師の方々に来ていただきました。



【そばのうす焼き】

竹細工では、弓矢、竹とんぼ、竹てっぽう等を作り、作り終わると弓矢の練習や竹とんぼ飛ばし競争を行ない、子どもより大人が盛り上がっていました。

灰焼きおやき、そば(かりんとう、うす焼き)では、出来上がり待ちきれずに、手を出す大人や子どもたちの姿もありました。が、真剣に講師の方々の話に聞き入り、質問もしながら取り組みまわっていました。



【わら細工】 正月飾りやおやすの作り方を教わりました

わら細工は、おやすや正月飾りを作り、戸惑っている姿をみつけては、講師の方が優しく声をかけ教えていただきました。みんな個性豊かなおやすや正月飾りが出来上がりました。その後、各ブース毎に食事を会を行ない、参加された方々から感想やお礼の言葉を伝え、講師の方々からも感想を述べていただきました。



【そばのかりんとう】

参加された保護者の感想をご紹介します。笑顔いっぱい、で感想を述べてくれました。

- ・竹細工に参加し、最初、子どもが真剣にやっていたが、気づいたら私も真剣に楽しんでいました！

- ・おやき作りに参加し、奥の深い食べ物であり、昔の人は、いろいろと工夫して、すてきなあと、思いました。自宅でも是非、チャレンジしていきたいです！

- ・わら細工で、難しい部分もある中、講師の方々は、すいすいとやっていて、すてきなあと、感心しきりでした！今日作った正月飾りを自宅に飾ります！

100名弱の参加者での地域交流の場は、何よりも子どもたちの喜び、笑顔にあふれる姿を見れたこと、地域の方々、先生方、保護者もその姿を見て、たくさんの元気をもらい、とても賑やかで楽しい会となりました。



収穫の秋！



切久保地区には棚田が有り、その一部を山村留学生OBや、その保護者と地域住民とで構成された「農の心人を作る会」で管理しています。例年ですと、4月の肥料まきから10月の脱穀作業まで年間7～8回集まって活動するのですが、今年は新型コロナウィルスの影響を受けて例年通りの活動を



する事が出来ないでいました。それでもお米づくりはしていたので、長野県在住会員（山村留学した事がきっかけで長野県に移住してきた人が数名います。私もその一人ですが…）と地元住民とで、なんとか作業して収穫の時期を迎えました。稲刈りばかりは皆の力が必要であろうと、万全の体調管理と十分な感染予防策を講じる事を条件に全会員に召集をかけることにしました。

そして、9月20日（日）に多くの会員が集まり、収穫の喜びを共有する事が出来ました！久しぶりの再会に、お互いの近況報告などしながら順調に作業は進み、明るいうちに作業終了。きれいな稲穂は掛けされた稲を見て、皆満足そうでした。



例年だと、この後お楽しみの懇親会があるのですが、今年は残念ながら自粛。残る作業は、太陽の光をたっぷり浴びて美味しくなったお米を脱穀するのみです。自分で借りている田んぼもあるの

文化祭に備えて苔玉づくり

10月9日（金）野平生活改善センターにて、八坂地区文化祭に備えて、老人クラブの役員の皆さんが苔玉づくりを行いました。

当日は地域の方から椿や南天、銀杏などの苗を提供いただきました。初めはこわごわ、泥団子を丸めていましたが、ひとつ出来上がると、次々に別の植物の組み合わせを考えて、一人で何個か作っていきました。文化祭まであまり時間がないので今回は、苔を巻き付ける黒糸を透明なテグスに替えて行いましたが、透明で見えにくいため苦戦していましたが、皆さんで協力して上手にできました。片づけた後は、お茶を淹れ、話が弾みました。



作品は他の地区の老人クラブの皆さんの力作と共に、八坂地区文化祭に展示されました。

野平地区編集委員
丸山郁夫



で作業は大変ですが、観光客の人たちが棚田の風景を眺めたり、写真を撮っているのを見ると、美しい景観形成に一役買っていることを実感でき、「よし、がんばろう！」と力が湧くものです。地域の活性化にもつながるこの会の活動をこれからも盛り上げていきます！

切久保地区編集委員

吉原克巳



南鷹狩山ハイク

9月12日(土)

天気: 晴れ

毎年、公民館登山と共催で行っている北アルプスへの学園登山ですが、今回は数日前から雨予報。残念ながら中止となりました。登山へ行けなくなり、どこもなく持て余してしまった学園生。

当日、午前中は天気を持ちそうなる予報になったので八坂地区内にある鷹狩山のお隣、南鷹狩山を歩きに行きました。あまり機会のない南鷹狩山ハイクに行けるということで、「逆にラッキーだね!」と前向きな子も。



大きな葉っぱをお面にして遊んだり、きれいな花を摘んだり、虫を追いかけたりと、各自八坂の自然を楽しみながら歩きました。途中で大町の方向が一望できる場所に着くと、日頃登っている鷹狩山とは違う角度からの景色に目を見開き、「鷹狩山から見るのとは違う景色なんだね!」「きれい!」「晴れた日に来てアルプスも見たい!」と様々に声を上げていました。また、八坂に3つだけあるという三角点のうち一つを確認。「文字が彫られている方が南だよ」と教えられると、かがんで目を凝らしていました。

2学期以降、熊対策のためバス通学が続き、少し運動不足な学園生。午前中だけのちよっとした山歩きでしたが、皆で気持ちよく体を動かしながら、賑やかな半日を過ごすことができました。

高砂大学 入学式



新型コロナウイルスの感染拡大により、開催を延期していましたが高年齢者学級「高砂大学」の入学式を8月28日(金)に明日香荘広間で開催し、六十二名の皆さんが入学しました。昭和46年から続く「高砂大学」は、今年で50回目を迎えることから、今までの歩みを振り返る50周年記念誌を作成し、関係する皆様に配布しました。

入学式終了後は、北アルプス農業農村支援センターの岡部知恭さんからサル等の有害獣被害の対策についてお話を聴きました。午後は、八坂小学校で開催された「人権を考える市民の集い」に参加し、障がい者スポーツ競技者の中村晃大さんから「聴覚障がい者でも世界に羽ばたける」と題した講話を聴き、人権を尊重する意識や態度について学習しました。

今年の高砂大学は、コロナ対策を徹底する中で3月まで5回の講座を開催し、生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げていきます。



高砂大学50周年記念
令和2年度



大町市八坂公民館



ふじ 藤 田 達 也さん か え 永さん (切久保)

八坂での 家庭菜園や狩猟が楽しみ！

今年の春、切久保の大門団地に引っ越してこられた
藤田夫妻をご紹介します。

今年の3月に切久保の定住促進住宅に引っ越してきました。藤田達也、佳永と申します。よろしくお願ひします。私が福井出身の31歳で、妻が神奈川出身の25歳です。昨年までは大阪の会社勤めでしたが、4月より大町の山岳博物館で働くことが決まり、ちょうど八坂地区の定住促進住宅の入居者を募っていたのを見て応募したところ、大

門団地に入居できることになりました。

こちらに来てからは休日には家庭菜園を楽しんでおり、今年はトマトやきゅうり、じゃがいもなどを育ててみました。都会では狭くてできなかった野菜にも挑戦することでき、次はどんな種類を育ててみようかとワクワクする日々を送っています。



だんだんと寒くなってきたが、関西では冬になると週末に里山でわな猟を行ないイノシシやシカを獲っている。以前住んでいたところでは、里山に行くまで車で一時間程かかりましたが、ここでは森の中まで歩いてすぐです。この環境を活かし、これから八坂を中心に活動していきたいと思っています。11月、3月の猟期はオレンジ色の狩猟ベストを着て出歩いていると思いますので、見かけたらぜひ、お声がけください。まだ色々和不慣れですが、これからどうぞよろしくお願ひいたします。

編集後記

全国的にコロナウィルスに翻弄された2020年。

会議、集会、行事の自粛、移動制限などの不自由な暮らしを余儀なくされていますが、幸い当地区では感染者もなく、まあまあ平穏に過ごせていると思っています。ですが、のびキャンペーンなど経済を活性化させようという取り組みが進むと、人の移動も増え、それに伴い、感染拡大のリスクも大きくなります。なんとなく弛んできた感のある感染防止への意識というのも、今後に一抹の不安を覚えます。

これから冬に向けて寒さも厳しくなってきます。いま一度、一人一人が感染対策を意識して、無事このコロナ危機を乗り越えていきましよう。

石原地区編集委員

松下憲夫